

表紙の人



倉橋みどり(くらはしみどり)氏
【プロフィール】

1966年 山口県美祢市出身。山口県で育ち、県立山口女子大学国文学科卒業。大阪の毎日新聞関連会社の株式会社高速オフセットクリエイティブセンターで編集者・ライターとして勤務。99年にフリーに。著書に『奈良の朝歩き、宵遊び』(淡交社)、『奈良祈りの回廊を歩く』(飛鳥園)など。

2012年 NPO 法人文化創造アルカ設立。また同年から奈良きたまちエリアでイベント・マップ制作を行う「きたまちコンセント」のメンバーに。今年8月初開催の「きたまちという」では、朝歩きの案内役を担当。

2018年から NHK ラジオ深夜便日本列島暮らしのたよりリポーター。

2020年から奈良市観光大使。

「表紙の人」は、今年度大会が開催する『場を生むデザイン賞』～第19回奈良県景観デザイン賞～の審査委員をしていただく倉橋みどりさんです。山口県ご出身の倉橋さんは、ご結婚を機に奈良に移り、フリーとしての活動を開始。季刊誌『あかい奈良』の編集長をお務めになりました。現在はフリーの編集者、そして NPO 法人文化創造アルカ理事長として、様々な媒体で奈良を発信する企画を提案したり、執筆を担当することも多々。奈良が大好き。とおっしゃる倉橋さんに、現在の主な活動や奈良の魅力などについて、お聞きしました。

■現在の主な活動について、お聞かせください

雑誌・新聞、WEB サイトでの奈良特集で、取材先の提案から撮影などのコーディネート、執筆までを依頼いただくことが多かったのですが、ここ5年ほどは、文化センターなどで、奈良をテーマに合わせてご案内する「まち歩き講座」の講師、奈良をテーマにした講演、シンポジウムやイベントの進行役といった、より総合的な仕事をご依頼いただくことが増えてきました。私の仕事場がある奈良きたまちで、お店をやっている方や住民のみなさんと一緒にイベントやマップ制作を行ったり、奈良市水門町の入江泰吉旧居という施設で事業コーディネーターも引き受けています。もともと、編集とは、出版物だけでなく、まちづくりやイベントを組み立てることも編集だと思っていたので、この流れはとてもうれしく思っています。

■奈良の魅力について、お聞かせください

奈良市内で暮らし、仕事場を持つようになって、歴史が苦手だった私も歴史が大好きになりました。以前は歴史＝過去というイメージが強くありました。でも、奈良はちょっと歩くだけで国宝の建造物、仏像に出会うことができるし、何よりも、奈良に昔から住んでおられる方々とお話すると、さりげなく「聖武(天皇)さんが」とか「源平の合戦のときにな…」などと出てきます。何より奈良時代からの条坊制が今も色濃く残り、東大寺二月堂修二会は1270年、春日若宮おん祭は900年と、長い間続けてこられた祭事があります。歴史と今、自分が呼吸をしている時間がいっぱいと感じていることを実感できる場所です。私も歴史のひとひらになるんだと思うと、しっかりと生きなくてはと背筋が伸びます。私にとって奈良は、生きる力をくれる場所です。なかなかコロナ禍の終わりが見えない今ですが、これまで名もなき人も含め、数え切れない人々の悲喜こもごもの人生から出来上がっているはずの奈良の歴史を思うと、「ぜったいに乗り切れる」という力も湧いてきます。

■貴重なお話しありがとうございました。

【記：教育・事業委員会 委員長 城田全嗣】



「山の辺の道を歩く講座にて」



NPO 法人
文化創造アルカ

これまで18回にわたり、開催してまいりました『奈良県景観デザイン賞』について、本来は、昨年度が開催年度でございましたが、正副会長の「時代に即したより良いものにしたい。」という意向をうけまして、今年度の開催を目指して、教育・事業委員会にて企画の検討を進めてまいりました。

その結果、装いも新たに、『場を生むデザイン賞』～第19回奈良県景観デザイン賞～として、開催することが決定いたしましたので、建築士会会員の皆様に、現時点での事業概要を報告いたします。どなた様でもエントリーいただける新たな試みとなっておりますので、奮ってご参加ください。

1. 事業目的及び企画概要

奈良県建築士会では、約36年にわたり、奈良県景観デザイン賞として、奈良県内の優れた建築を数多く表彰してまいりました。

しかし、建築や地域社会を取り巻く状況は近年大きく変化しており、奈良県景観デザイン賞の役割もその変化に対応することで、地域社会に対して何か貢献できるのではと考えております。

地域住民が、自らの力で地域を魅力的にすることで、地域を誇りに思う精神が生まれ、その精神によって、このまちをもっと良くしたいという感情が生まれ、地域に持続的な力や元気を与えます。

そこで今回のデザイン賞は、全国各地で開催されているコンテストとは一線を画し、装いも新たに、『場を生むデザイン賞』として、

建築物だけを評価するコンテストではなく、

建築を背景として、

『地域の人々の縁となる場』、

『地域の人々が元気になる場』、

『地域の人々の記憶となる場』など、

地域の人々による等身大の活動と建築によって生まれる魅力的な『場』を募集します。

そして、それらの『場』を多くの人々に知ってもらうことにより、地域を誇りに思う精神を培い、そのような『場』を生み出す姿勢が「新しい標準」となるきっかけになることを目的とします。

2. 実施概要

①応募対象

1) 建築を背景として、『地域の人々の縁となる場』、『地域の人々が元気になる場』、『地域の人々の記憶となる場』など、地域の人々による等身大の活動と建築によって生まれる魅力的な場を創出しているもの。

2) 奈良県内に実在するもの。(竣工年・規模・用途・新築・改築・改修等は問わない。)

②審査の方法: 審査員による3回の審査(写真選考・現地審査・最終審査)により選考。

③表彰の内容

「最優秀賞(知事賞)」 「優秀賞(会長賞)」 「奨励賞」を選出。

④表彰の方法

令和4年5月頃に表彰式を行い、応募者に対して、賞状などを贈呈。

3. 審査委員: (50 音順・敬称略)

倉橋 みどり(編集者・ライター)

長坂 大(建築家)

保山 耕一(映像作家)

山崎 亮(コミュニティデザイナー)

山本 あつし(事業プロデューサー)

※本号より、『表紙の人』にて審査委員の先生方を紹介いたしますので、是非、ご一読ください。

4. 実施スケジュール(予定)

令和3年9月～10月: 広報期間

令和3年11月～令和4年1月: 募集期間

令和4年3月: 一次審査 → 二次審査

→ 受賞結果の発表

令和4年5月: 表彰式

(建築士会総会終了後、開催予定)

現時点では以上のご報告となります。

現在、詳細の企画を進めているところですので、決定次第、続報をお届けします。

どうぞ、ご期待ください!

【記: 教育・事業委員会 委員長 城田全嗣】

わたしたち建築士は、その職能を活かすことによって地域のまちづくりに関わっています。(公社)日本建築士会連合会・まちづくり委員会は、6つの部会で連携しながら活動を進めています。

1. 景観まちづくり部会

自治体と連携しながら、地域の景観調査や景観計画等の業務を通じて、まちづくり活動を進めています。

- ① 景観まちづくりの人材の育成として景観教室や講座の実施
- ② 地域団体・まちづくり協議会等の支援
- ③ 駅舎や登録有形文化財の調査・保存活動
- ④ 景観整備機構としての活動(現在12士会)

2. 防災まちづくり部会

建築の専門家集団・技術者として、自治体が抱える防災まちづくりに係る課題(被災前から被災後)に連携して対応し、住まいや生活環境づくりを通して地域住民の暮らしを支える活動に取り組んでいます。

- ① 被災地士会への情報提供と連携及び支援活動
- ② 災害対策の活動成果の整理と分析、課題の抽出
- ③ 風水害対策用「建築士事前防災活動士指針」作成
- ④ 地震対策用「建築士事前防災活動指針」の更新
- ⑤ 「建築士の災害対応」の全面的見直し
- ⑥ 「木造応急仮設住宅供給に係る建築士会等」連絡会議の拡大

3. 歴史まちづくり部会

地域の歴史的・文化的な資源を発見・活用して、地域の価値や魅力を高めるまちづくりを行います。

- ① 歴史を生かしたまちづくり事例の収集・整理(パターン化)・情報共有
- ② 有志者や自治体を巻き込んだ事例研究
- ③ 被災歴史的建造物への対応
- ④ ヘリテージマネージャーの養成・スキルアップ
- ⑤ 文化財保存活用支援団体の指定(行政連携)
- ⑥ 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会との連携・協働

4. 街中(空き家)まちづくり部会

空き家に対する関心が高まるなかで、自治体と連携して、空き家の利活用を進めています。

- ① 空き家まちづくりへの建築士の参入の促進
- ② 空き家利活用のための人材育成講座等の開催および普及

③ 自治体連携への協力支援

空家等対策協議会委員・調査・計画策定・特定空き家の認定など

5. 福祉のまちづくり部会

「やさしい住まいづくり」と「やさしいまちづくり」の2つの方向で、福祉分野において建築士の社会的役割・職能を明確化しながらまちづくりを進めています。

- ① 連合会、ブロック委員、単位士会における福祉分野の建築士の体制確立(情報交換・交流等)
- ② 専門家等との連携
- ③ 福祉分野の人材育成
- ④ 国や行政に対し、協力要請や要望書の提出等

6. 木のまちづくり部会

2017年の京都での全国大会で「山とまちと木造建築」がテーマとなりました。その後、木造住宅と中大規模木造建築への取組みが課題となり2020年8月に新設された部会です。木造建築に関係する同業種はもちろん、川上から川下までの関連異業種の人々が連携し、地域の産業を活性化させ、同時に地球環境に貢献する建築活動を建築士会が率先推進しようというものです。

各地の川上の情報を把握すること続け、木造住宅と中大規模木造建築の設計と工事監理および施工に関する様々な話題と課題を掘り起こしています。

以上が(公社)日本建築士会連合会・まちづくり委員会の各部会の活動内容ですが、部会単独で完結するものではありません。まちづくりの課題は、多様で複層的でありますので、部会の課題は関連しており、連携して取り組む必要があります。また、自治体との連携もそれぞれの活用内容で述べられていますように重要です。

この6つの部会には各県建築士会ごとに地域リーダーがおり、地域の課題を全国に発信し交流しています。相談や意見をもとめられる場合は、ご連絡ください。

-お知らせ-

奈良県では、「きれいな奈良県づくり功労賞(景観づくり部門)」の募集を行っています。地域の景観に適した屋外広告物を表彰することにより奈良県らしい景観を保全・創造するものです。公式インスタグラムに応募作品を掲載し、一般から「いいね!」の投票も参考に受賞作品が決定されます。

詳細は、奈良県景観・自然環境課にお尋ねください。



【記:奈良県建築士会会長 米村博昭】

お知らせ

●国土交通大臣表彰を受賞！

西峯 隆司 副会長が令和3年建設事業関係
功労者の国土交通大臣表彰を受賞されました。

●入会

山本 晋也 様(檀原支部)
森井 善弘 様(高田支部)



よろしくお願いいたします。

新コーナー

新しく入会されました方からの
ご挨拶を今後掲載していきます。

入会者からのご挨拶

～今年度入会されました方よりご挨拶が届きました～

【氏 名】 小川 かおる

【所属支部】 奈良

【自己紹介・挨拶文等】

この度、大阪府建築士会から引っ越して参りました、小川かおると申します。これからはこの奈良で、地域の特性を活かした住宅リノベーションに力を入
れていきたいと頑張っております。

どうぞ宜しくお願い致します。



編集後記

自然災害にコロナ、オリンピックと、日々新しい
ニュースの更新速度に驚きを実感しております。

さて、皆様はオリンピックをどのように楽しまれ
たでしょうか。開会式は稀に見る高視聴率とな
り、注目度が窺い知れました。普段は目にすること
がないスポーツ競技の「観戦」ができるのは、
オリンピックの醍醐味です。メダル獲得は過去最
多となり、全力で競技に取り組まれている選手の
姿に心を動かされた方も多いと思います。同じ
「カンセン」という単語でも、コロナ「感染」拡大と

いうニュースは見たく無いものです。この記事が、
掲載されている頃には、落ち着きを取り戻されて
いることを願うばかりです。

初の延期を経験し、開催都市東京を含む競技
会場の大部分で無観客という、極めて異例の形で
の開催の運びとなった TOKYO2020 オリンピッ
クが、未来の人々に語り継がれていくオリンピック
になったことは間違いないです。

【記：門脇 直也】

9月 12日(日) 二級建築士試験(製図)
14日(火) 監理技術者講習

10月 10日(日) 一級・木造建築士試験(製図)
20日(水) 監理技術者講習

士 会 奈 良 通巻 639 号

令和3年9月1日(発行隔月1回1日発行)

発 行 所 一般社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話：0742-30-3111 FAX：0742-33-4333
<https://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 米 村 博 昭

編 集 (一社) 奈良県建築士会 情報・広報委員会



情報・広報委員会

委 員 長	福田 成生	
副委員長	松田 七彦	宮浦 重彦
委 員	中元 綱一	伊藤 吉郎
	門脇 直也	折目 貴司
	松尾 憲治	大倉 克之
	小西 直樹	山崎 修裕
	小松原寛俊	洞 尚樹
	押部 誠	

奈良県のストレート合格者のおよそ9割は総合資格学院の当年度受講生！

奈良県
合格者占有率

No.1
建築士試験

令和元年度 1級建築士 学科・設計製図試験

奈良県 ストレート合格者占有率

88.9%

奈良県ストレート合格者9名中、当学院当年度受講生8名

令和元年度 1級建築士 設計製図試験

奈良県 合格者占有率

85.7%

奈良県合格者28名中、当学院当年度受講生24名

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会[No.1]表示に関する実態調査報告書に基づき掲載しております。※都道府県合格者数・ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。※学科・製図ストレート合格者とは、令和元年度1級建築士学科試験に合格し、令和元年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※総合資格学院の合格実績は、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。(令和2年2月12日現在)

開講
迫る!!

令和3年度 1級・2級建築士
学科対策講座

受講生
募集中!!

お申込みは
お早め!!

1級・2級 建築士
1級建築士
建築施工管理技士

構造/設備設計
1級建築士
1級・2級
土木施工管理技士

建築設備士
1級・2級
施工管理技士

宅地建物取引士
1級
造園施工管理技士

インテリア
コーディネーター
賃貸不動産
経営管理士



総合資格学院
全国約100拠点

学院長 岸 隆司



www.shikaku.co.jp 総合資格 検索

Twitter ⇒ @shikaku_sogo

Facebook ⇒ 「総合資格 fb」で検索!

奈良校 TEL.0742-30-1511

奈良県奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

近鉄大和駅西大寺駅北口から徒歩5分

■SHIKAI NARA 2021.09